

同じの見つけた!

1歳〜2歳ごろは「同じ」に気づき始め「一緒」ということが分かってくる時期でもあります。

そこで、お部屋では「同じ」を見つけていることが出来るメモリーカード（神経衰弱）で遊び始めました。

まずは、机の上に表向きにしたカードを並べ、保育教諭が持っているカードと同じ柄のものを探して見つけて楽しんでいきます。保育教諭が持っているカードはどんな柄か見て、確認してから目線を机に向け、じっくりと探している子どもたち。見つけたときにはパッと笑顔になり、嬉しそうに喜ぶ姿も見られますよ。

繰り返し遊び「同じ」を見つけていることを楽しむことが出来るから、カードを全て裏返し、2枚めくって同じものを探す神経衰弱の遊びをしていきたいと思えます。



【テディメモリー】

大きくて持ちやすく、可愛いくまさんのカードです。絵の違いが分かりやすく、初めてメモリーカード（神経衰弱）で遊ぶにはぴったりです。



ファスナーって面白いな

お部屋でお世話遊びを楽しむ中で、赤ちゃんのオムツシート入れのファスナーに興味を持つ姿が見られ、ファスナーのおもちゃを用意しました。ファスナーの片端を指で押さえ、もう片方の指で開閉する金具を持ち、開けたり、閉めたり。その感覚がとても楽しい様子で「できた」という達成感を味わっています。

ファスナーのおもちゃに興味を持ち遊ぶことで、上着のファスナーにも興味を持ち、園庭へ行く時には自分でやってみようとする姿が見られています。遊びを通して身の回りのことに興味を持つことや自分でやってみようという気持ちを育てていきたいと思えます。



子どもたちの好きなごはんの時間。食事を通して、椅子に座る姿勢や皿に左手を添えることなどのマナーも伝えながら園では楽しい雰囲気の中、食事出来るようにしています。

手指の発達によるスプーンの持ち方の変化を紹介します。

★スプーンの持ち方の変化★

子どもの手は、小指から次第に親指の方へ力が入るようになります。

- ① 小指に力が入っている頃は、  
親指の方にスプーンの先を向けるように手のひらで握る持ち方
- ② 指に力が入るようになると小指側でスプーンを支え、親指と人差し指で握れる持ち方
- ③ 親指、人差し指、中指の3本でスプーンの柄を支え、下から持つ持ち方（三点持ち）

☆三点持ちになった時にスプーンに中指がかかるのは、まだ手指の発達が追いついていない証拠のため、握り持ちに直し、握るということをしかり出来るようにしたいと思います。

このように、指先が鍛えられ手指の発達を促すことが出来るように、園では、ぽっとな落としやひも通しなど指先を使った玩具で遊んでいますよ。

